

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	進行卵巢癌制御を目的とした腹膜環境を標的とする新規治療法の開発 (G22-08)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部産婦人科学「婦人科学」 診療講師 北見和久
他の研究機関および 各施設の研究責任者	名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学 教授 梶山広明
本研究の概要・背景・ 目的	卵巢癌は自覚症状に乏しく、腹膜播種を伴う進行卵巢癌で診断されることが少なくありません。腹膜播種を治すことが患者さんの生命予後を決定する重要事項です。大学病院は日々研究を行い、疾患のメカニズム解明と新規治療法の開発を行っています。診断・治療のために行われる検査や手術により摘出された腫瘍組織とそれに付随する正常組織から、蛋白を取り出して調べることで、卵巢癌の腹膜播種メカニズムの解明と新規治療法の開発を目指します。
調査データ該当期間	2000年1月1日から2027年12月31日
対象となる患者さん	2000年1月1日から2022年12月31日の期間に、当科で卵巢癌、卵管癌、腹膜癌に対して手術(審査腹腔鏡を含む)を受けた患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	手術や生検で得られた組織(腫瘍、正常組織)のうち、病理検査に用いない残余検体(パラフィンブロック)から蛋白を抽出し、ナノフロー液体クロマトグラフィ質量分析計を用いて、網羅的に発現解析を行います。2000年1月1日から2027年12月31日までの診療録に記載のある診療記録、検査データ、画像データも利用します。
試料/情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	患者さんから頂いた試料から抽出した蛋白を、匿名化した状態で、名古屋大学大学院医学系研究科・産婦人科学教室に冷凍輸送し、共同で解析を行います。提供元機関の名称及び機関長の氏名:北里大学病院・病院長 高相晶士
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位:北里大学医学部産婦人科学「婦人科学」 診療講師 担 当 者:北見 和久(キタミ カズヒサ) 電 話:042-778-8414
備 考	